

令和2年6月

新会長挨拶

都立あきる野学園

校長 市川 裕二

令和2年度は、コロナ感染症が、世界規模で感染拡大し、我が国においても緊急事態宣言発令など感染拡大防止の対策が取られる中、全国特別支援学校長会も総会を書面開催するという異例の対応を取らせていただきました。このため、本来であれば、総会において、会員の皆様に御承認をいただき、新会長として御挨拶申し上げるところでございますが、この度、書面という形で御挨拶させていただきます。

書面開催による理事評議員合同会議において、朝日会長の後を受けまして、令和2年度から新会長となることについて、御了承をいただきました。今回の総会書面開催で、御異議がなければ、新会長に就任させていただきます。

全国1100を超える特別支援学校において、障害のある子供たちのために、日々、学校経営に尽力なされている校長先生方の代表として恥じないよう全力を尽くしてまいり所存です。

全国特別支援学校長会は、昭和38年(1963)に全国特殊学校長会として立ち上がりました。以来、令和2年度まで、57年の歴史を積み重ねてきました。平成18年の学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴い、盲・聾・養護学校が、特別支援学校に名称変更したことから、校長会も「全国特別支援学校長会」と名称変更しました。この間、数度の学習指導要領の改訂や特殊教育から特別支援教育への転換など、特別支援学校を取り巻く状況変化のたびに、校長会も新たな課題に対応してきました。

昭和から平成に、2年前の平成から「令和」という「新しい時代」を迎え、校長会は、朝日会長のリーダーシップの基、「全特長ビジョン2020」や、「新たな全国調査」「新しいホームページの立ち上げ」など、改善を進めることができました。

また、現在、文部科学省の中央教育審議会において、これからの教育に関する様々な課題等について、検討がなされているとともに、新しい時代の特別支援教育在り方に関する有識者会議において、今後の特別支援学校の在り方を含む特別支援教育に関する検討がなされています。こうした会議へ対して、校長会としての意見等を申し上げる機会も増えてきております。

今後は、こうした取組等を継続・発展させながら、「新しい時代の全特長の取組」を推進していく必要を感じております。

力不足では、ございますが、皆様の御支援を受けながら、精一杯、取り組んでまいりますので、よろしく願います。